

自動車整備業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故 の 型	労働者 規 模
2017	1	15～ 16	工場前で、お客様が持ってきたダンプの排雪用の雪当たり板の吊り上げ部を修理するため、吊り上げたところ、元々ついていた溶接フックが外れ、鉄板（60cm×6m）が1m位上から右足の指先に落下し骨折した。	32	521	4	1～ 9
2017	1	17～ 18	当社工場での勤務を終え、タイムカードを打刻するため事務所向かう途中の道路（約70メートル）が滑りやすかったため、後ろ向きに転倒し、後頭部を強打した。	52	719	2	10 ～ 29
2017	1	14～ 15	会社で高所作業車の修理中、シリンダー（部品）が滑って受け皿との間に右手が挟まれ出血し、右手小指を骨折した。	22	146	4	1～ 9
2017	1	15～ 16	作業場にて、200kgのドラム缶を転がして移動させる際、誤ってドラム缶の下に右足を入れ、ドラム缶のふちで右足甲を踏んだ状態となり受傷した。	24	611	7	—
2017	1	16～ 17	整備工場でバックホウを整備中降りる際に、右足をついたときに膝裏に痛みがはしり、バランスをくずし転倒してしまった。	67	141	19	10 ～ 29
2017	1	14～ 15	ポンプの部品、カップリング（外径280mm、重量7kg位）を棚から下ろそうとした際に滑り、左足に落ちた。その際に内出血を起こし、張れて痛みがあり、段々と痛みが増してきた。	73	391	4	1～ 9
			左足を軽トラックの荷台に載せ、右足をフロアにつけた状態で作業				

2017	1	14～ 15	をしていたが、工具箱がフロアに着地した直後、身体の痛み（主に両手のしびれ）を感じ、倒れ込んでしまった。しばらく様子を見たが症状が改善されず、脊髄に損傷が見られ、状況によっては手術を要することになった。	27	611	19	～ 49	30
2017	1	10～ 11	新車納整工場ボディーコーティング作業場で、脚付作業台に乗り、1BOX車のコーティング施工時、ルーフパネルの施工液塗布終了後、作業台から降りようとする際、作業台の高さを低いと勘違いし（実際の高さは107cm）踏み浅を使わず後ろ向きにそのまま降りたため、地面に落下し背中を打ち負傷した。	55	371	1	～ 299	100
2017	1	15～ 16	工場内1階で車輛の修理中、酒用ケースを踏み台として使用していたとき、酒用ケースの上でバランスをくずし、前のめりにズリ落ちた。その際、ステップとステップガード板に首が直角状態になり、頸部を捻挫した。	63	379	1	1～ 9	
2017	1	19～ 20	工事内で、フレーム修正機で作業中に誤ってジャッキのスイッチを押してしまい、車が下がり、頭を挟んだ。	30	169	7	～ 49	30
2017	1	14～ 15	当事業場内において車検整備作業中で点検車両の右後タイヤを車体に取り付けようとタイヤを持ち上げた際に左肩の筋肉を負傷した。	41	921	19	1～ 9	
2017	1	18～ 19	自動車が側道より右折しようとした所、右側から来た車両と衝突した。自社のレンタカーを引き取りに行き帰社する途中での事故である。	29	231	17	1～ 9	
2017	1	10～ 11	大型車両の後タイヤ脱着作業中、大型エアツールを使用する為、アタッチメントを交換する時、スイッチが地面に当たるような形で交換した為、スイッチが入ってしまい、エアツールが回転してしまった。その時、アタッチメントはずれ防止のピンが手に当たり、損傷してしまった。	42	169	4	—	
		9～	当社内において、顧客より預かった車両の板金塗装作業を行っていたとき、作業指示書に目を通しながら、所定の場所へ必要な道具を					10

2017	1	10	取りに行こうと歩いていた為、足元に置いてあった部品に気付かずに躓き転倒し、左膝を強打し負傷した。	50	417	2	～ 29
2017	1	14～ 15	ピットにて軽トラックのファントバンパーを取り替している時に足をすべらせ落下した（深さ約1.5m）。	24	414	1	10 ～ 29
2017	1	11～ 12	钣金修理で入庫の車両右ドアのメッキパネルをカッターで剥がす作業をしていて、手元に力を入れ過ぎて滑り、左手小指を切ってしまった。	32	364	8	10 ～ 29
2017	1	10～ 11	車庫の屋根に積もった雪を下ろそうと、屋根の上でスコップを使用して作業をしている時に、足元が滑って約5m下の地面に落ち、両足を負傷した。	51	415	1	10 ～ 29
2017	1	15～ 16	整備車両を積載車両（レッカー）で搬送し、搭載していた車を降ろす作業にて、被災者が搭載車にフックがかかったワイヤーを左手で弛みをとるため、引っ張っていたとき、その動作に気がつかず同行者が搭載車のブレーキを解除して車が下がり、ワイヤーに引っ張られ、荷台右角の滑車に左手を挟み中指第一関節と人差し指先端を切断した。	66	221	7	10 ～ 29
2017	1	11～ 12	普通ステーションワゴン車の塗装済みスライドドアを、取付車両横の仮置台まで4人で運んでいた時、車検の為にはずしていたフロントタイヤの一部が、車検・整備区域をはみ出して置かれていた。被災者はタイヤが置かれていた事を認知しておらず、又4人で運んでいた為、後ろの安全をよく確認出来なかった。被災者は、タイヤにつまみずいた時点で急に止まる事が出来ず、4人で運んでいた勢いもあり、タイヤに尻もちをつくように倒れた。その時運んでいたスライドドアを傷つけない様にかばった為に右肩の腱を断裂した。	61	417	2	1～ 9
2017	1	14～ 15	本社整備工場検査ラインにて、工場内の電話が鳴った為、電話機に向かおうとした際、足元の車体検査機に躓き転倒し、左膝蓋骨を骨	47	391	2	10 ～

			折した。				29
2017	2	9~10	自動車整備作業における、ワイヤーブラシで研磨中に、ワイヤーの背が飛び、左眼に刺さった。ゴーグルを着用せず、作業したもので、対策が不十分であった。	54	153	4	10 ~ 29
2017	2	13~14	工場敷地内で薪ストーブの薪割りをしていた際、高速切断機に左手を引っ掛けてしまい、左手中指と左手薬指に損傷を負った。	31	131	8	1~ 9
2017	2	2~3	被災職員は同事業所内において、火災現場で使用した空気ポンベを交換する準備を行っていた。あらかじめ火災現場から連絡を受け、搬送用の台車に空気ポンベ30本を積載し台車を搬送する際、台車に対して腰部を反転させて搬送しようとしたために、腰部に激しい痛みを伴い受傷に至ったものである。	48	921	19	100 ~ 299
2017	2	11~12	当社工場においてトラックのタイヤを外す作業中、なかなか外れずに力いっぱい引き抜いた際に体が持っていられ足をひねってしまい右足首を痛めたものである。	31	221	19	1~ 9
2017	2	14~15	工場内にて、走行中の異音が発生する車両（普通乗用車）の現象確認をするために車両をジャッキアップしリジットラックにて車両4輪を支え、リフトアップした状態で寝板を使用し、車両下側に入り点検作業中、可動しているプロペラシャフトに被災者が着用しているダウンジャケットが挟まり左腕部が巻き込まれる状態になり負傷したものである。	62	231	7	30 ~ 49
2017	2	17~18	当工場内で軽自動車をジャッキスタンド4ヶ所を上げ左サイドステップの钣金修理をしゃがんだり、膝をついて、腰から上半身を左右に傾け修復作業をした。修復した部位にパテ付け作業をするため、パテを取りに行こうと立ち上がった時に腰を痛めた。	58	921	19	—
2017	2	9~10	3人で軽トラックの荷台に鉄くず（車ドア）を積み込んでいたところ、その積荷が予定外に傾きだし、それらに押される状態となった。その際に左足ふくらはぎを荷台あおりと鉄くずに挟まれて左足を受傷した。	67	521	7	10 ~ 29

2017	2	14~15	弊社工場内において、大型トレーラーのマキシチャンバースブレーキのエア漏れ修理を行っていた際、エアホースよりエア漏れが生じた。その際右手でマキシチャンバーを保持しており、マキシチャンバーに薬指を挟まれ骨折したものである。	68	221	7	30 ~ 49
2017	2	16~17	自動車完成検査場横、油脂置き場にてエンジンオイルの入ったドラム缶（200?）を移動中、立った状態から横に倒す時中腰での作業となり腰痛となった。	31	921	19	—
2017	2	13~14	バスへ脚立をかけて作業していたところ、わめき声が聞こえたので行くと被災者が倒れていた。	42	413	1	10 ~ 29
2017	2	13~14	納車する車のフロアマットを屈んでエアブローをしていた時に、当社社員が塗装作業中の車を移動させる為バックをした時に屈んで車の後ろで作業していた被災者に気付かずに衝突し、転倒し右膝部分を打撲した。別作業をしていた者が車を叩いて止めさせた。	61	231	6	1~ 9
2017	2	9~10	トラックの荷台に乗ってアングルを取り付ける寸法の調整作業をする為、グラインダーで削っていたところアングルを固定していなかった為、自分の方へ倒れてきてその勢いで荷台から転落し左鎖骨を負傷した。	72	221	2	1~ 9
2017	2	14~15	自動車整備の為、車両を運転して道路を走行していた。交差点で前方の車両が赤信号の為停車した。本人の車両は停車をせず、前方の車両に追突した。本人は全身打撲と胸骨骨折をした。前方の車両は完全に停車していた為、前方の車両に過失はないものと思われる。	18	231	17	50 ~ 99
2017	2	13~14	事業場整備工場内で被災者が作業中、工場内高所の物品（道具）を取るために脚立を使用し取り終え飛び降りた。降りた際両足で着地し、右足底部に痛みと違和感が生じ座り込んだまま立つ事が出来なくなっているところを事業場専務が発見し病院へ搬送し付き添った。	45	371	3	1~ 9

2017	3	10~11	事務所で使用したタオル・台ふきん等の洗濯が終了したため、被災者はそれを干すのに事務所2階食堂に行く階段を上り終えたところ、食堂が使用中だったために被災者は食堂に入らず引き返そうと一歩（向きを変えず）後退した際、足を踏み外し約2m下の踊り場に転落し、臀部を打ち負傷した。	48	413	1	10 ～ 29
2017	3	15~16	職場敷地内において、積載車に車を積み込みしたあとに、荷台から降りようとして積載車のあおりに足が引っかかってしまい、地面に着地した際に右足くるぶしをついた。	56	221	3	1～ 9
2017	3	18~19	車検の整備工場内で車両整備のため、工具を使用しエンジン側面のボルトを外す作業中、狭いところに無理な体勢で手を入れようとしたため、右手首を捻り捻挫した。	23	521	19	30 ～ 49
2017	3	20~21	自社工場内において、ハンマーを使って鉄板を伸ばす作業をしていたところ、鉄板を押さえていた左手小指を誤ってハンマーで叩いてしまい負傷した。その後も就業を続けていたが、患部にばい菌が入り手術が必要となった。	36	364	7	50 ～ 99
2017	3	15~16	週に2回程度、シリンダーヘッドの全数検査業務があり、当日の検査作業を開始して間もなくシリンダーヘッド（約13kg）を持ち上げた瞬間、背中に痛みを感じたのでその日は早退をし安静にしていたが、翌日になっても痛みがとれず、胸椎・腰椎捻挫と診断された。	19	521	19	500 ～ 999
2017	3	11~12	積載車に車輛を積み込む作業をしている際、荷台に登り車輛固定をしていたところ、誤って荷台上の段差につまずき、荷台より落下し、アスファルトの地面に右手をつき右腕を負傷した。	32	221	1	30 ～ 49
2017	3	17~18	トラックの車検時、フロント左ロアアームブッシュ交換の際に、脱落防止のナットをかけず大ハンマーで叩いて部品を外す作業で、叩いたところローター一部分が左太ももに落ちてきた。地面から車両までの高さ1m位で命馬をかけた状態であり、経験の少ない作業を周囲に聞きながら1人で行っていた。	39	221	4	50 ～ 99
			当社自動車整備工場内において、整備のため2tトラックの荷台に				

2017	3	15~16	乗って作業をしていた。荷台から地面に降りようとしたところ、誤って足を滑らせ、地面に着地した際、右足首を捻って負傷した。	51	221	1	1~9
2017	3	17~18	工場内にて溶接作業中、脚立に乗って作業していた際、足を踏み外し転落し、後ろにあった製品に頭を打撲した。	56	371	1	10~29
2017	3	13~14	調色中、調色室より手に荷物を持って工場への通路に有るドアより工場へ出ようとした際に、ドアの下部の段差は承知していたが荷物を持っていた為に足元が見えず、思ったより足が上がっておらず、体の左側より転倒した。	47	419	2	1~9
2017	3	15~16	高速道路を営業客先より会社方面へ運転走行中、並走車両との間で衝突事故が発生し緊急搬送された。	39	231	17	50~99
2017	4	13~14	社内工場内で整備者A、整備者B（被災者）とで大型トラックのトラニオンのピン脱着作業中、ピンの先に整備者Bが大ハンマーの頭部分をあて、整備者Aがその頭部分を別の大ハンマーで打ち込みしていたとき、整備者Aのハンマーの頭部分が柄からはずれ、トラックの荷台の床板とフレームにはねかえりながら整備者Bの右顔面に当たった。	46	364	4	1~9
2017	4	13~14	自社店内で、お客様からお預かりしているオートバイのエンジンをかける際、キックペダルの跳ね返りによって足を強打し、足首全体（特に足の甲）が大きく腫れた。	48	231	6	1~9
2017	4	14~15	車検整備完了後、リフトを降ろし助手席側よりE/Gオイル補充後にこぼれたオイルをパーツクリーナーにて洗浄していた。そのとき車両右側にてリフトアタッチメント格納部のフタの剥がれに気付いたメカニックがフタの修復の為に溶接作業を行う。フタヒンジ部3ヶ所目を溶接していた時にボンという音とともにパーツクリーナーに引火したと思われる。	37	513	14	30~49
		9~	工場内において、オイルもれ修理の点検車両をリフトで1.5m程度に				1~

2017	4	10	上げ、高さ2mの脚立で運転席に登り作業し、降りようとしたところバランスを崩して落下した。	51	371	1	9
2017	4	9～ 10	当社第二工場でフックロール車の昇降不良整備のため本人と同僚の2名で動作確認をしていた。同僚は昇降ボタンを操作して、本人は昇降動作の確認のため摺動部分にあるセンサーに左手を当てていた。同僚が声がけをし同意を得ているものと思い込み、フックロールを作動させたところ、本人の左手が上下に作動するレバーに挟まり、左手中指と薬指を負傷した。	64	221	7	10 ～ 29
2017	4	14～ 15	工場内にて、内側から車輛搬入用シャッターのペンキ塗装を行うため、梯子をかけて登り、シャッター上方の塗装作業を行っていたところ、梯子の掛かり具合が悪く、後方へ梯子が滑り、梯子を下に敷く形で転落し、左手首と左肋骨を骨折した。	41	371	1	1～ 9
2017	4	12～ 13	職場からリコール車を積載車に乗せて搬送し、駐車場で荷台に乗せた車から書類を取り出し荷台から降りる際、積載車の足掛けに右足を掛けたつもりが誤って右足を滑らせ、その瞬間に痛みが走り右足を負傷した。何とか職場に帰り、軽作業をこなしていたが、痛みがひどくなった。	50	221	19	1～ 9
2017	4	11～ 12	工場内で作業中、段差のあるところをまたいでバランスを崩し、ねじって足をついた際に激痛とともに腫れが生じ、左足靭帯断裂を負った。	23	416	19	10 ～ 29
2017	4	15～ 16	会社の工場で車（普通車）のドアパネルを钣金していて反動で骨折した。	36	364	3	1～ 9
2017	4	14～ 15	工場内作業場でデフ分解作業中、プロペラシャフトを降ろす際にあやまって落としてしまい、左親指に当たり切れた。	58	521	4	1～ 9
2017	5	15～ 16	会社の工場内で普通貨物（4tユニック）車検整備中に運転席より手を滑らせてコンクリートの床に後ろ向きに転落し頭と背中を打ち（ヘルメットなし）、一瞬気を失うもすぐに気付き、動いていたなら両手にしびれが出てきた。	47	221	1	1～ 9

2017	5	10～ 11	出張修理作業中に、乗用車のボンネットを開けるために、運転席足元前方にある、ボンネット解除レバーを引っ張る為に腰を折り左手を前方に伸ばして、レバーを引っ張る時に腰に強い痛みを感じ動けなくなった。	36	921	19	10 ～ 29
2017	5	9～ 10	工場内でトラックの修理をするため、あおりのヒンジに注油をし、締める時に誤って指を挟んだ。	53	221	7	1～ 9
2017	5	7～8	会社構内において原木積込途中のトレーラーから整備従業員が車両整備のためトレーラーヘッドを切り離すため、トレーラーレースのアウトリガー（ジャッキ）を降ろす作業中、トレーラーレースの左側上部から固定前の原木が落下し、従業員の背面に直撃し転倒し、背骨の一部を骨折した。	66	522	4	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	お客様の駐車場で、トラックのフロントガラス交換作業を行っていた際に、車内に乗り込み、外側へガラスを押し出そうとしたところ負傷した。	41	221	19	1～ 9
2017	5	9～ 10	整備工場にて卓上ボール盤でアルミの板に穴をあける作業中、軍手をしていた右手でアルミ板の位置を修正しようとしたところ、誤ってドリルに触れ、軍手が右手の指ごと巻き込まれた。	18	152	7	50 ～ 99
2017	5	17～ 18	工場内にてクラッチ（直径48センチ、厚さ10cm、重さ50kg位）を2人で持ち上げ、軽トラックへ搬入しようとした際に左肩から左前腕を負傷した。	62	121	19	10 ～ 29
2017	5	9～ 10	自社工場内において2tトラックの車検準備中、車をジャッキアップし、車体を支える為の器具リジットラックを立てていたところ、ジャッキを掛ける場所がずれていた為ジャッキが外れ、リジットラックと車体の間に左手人差し指と中指を挟んでしまい、粉碎骨折をした。	36	221	7	1～ 9
2017	5	16～ 17	当社工場内においてセミトレーラーの車検作業中に、シャーシフレーム上で方向転換をした際にバランスを崩して後方に転倒し、尾	24	221	2	10 ～

			骨を痛打した。				29
2017	5	14～ 15	メタルソーの材料送り用コンベア上に丸鋼を設置し、天井クレーンを使用するためペダルスイッチを取ろうとした際、コンベア上の丸鋼が転がり足元に落下した。	18	521	4	100 ～ 299
2017	5	12～ 13	工場内作業場にて自動車用のリフト下で自動車のブレーキを整備中、リフトのアームが一部外れて前部が落下して左足首に当たり骨折した。	39	229	4	—
2017	5	11～ 12	職場の修理工場内において、車のボディのゆがみを直すためパイプレンチで修正をしていた際、車の下からかなりの力で引っ張っていた時、腰の骨がずれて動けなくなってしまった。	55	364	19	1～ 9
2017	5	13～ 14	事業所内で車の整備途中、車両を後ろから押している際に右肩にひどい激痛が走った。当日はそのまま仕事を行ったが、右肩の痛みは取れなかった。	52	921	19	1～ 9
2017	5	9～ 10	トラックの荷台から修理を終えて脚立から下りる時に、足を踏み外して飛び下り、骨折した。	61	371	3	1～ 9
2017	5	14～ 15	自動車整備工場内で、圧入されているダイナをプーリーベアリング交換の為、プレス機にて取付作業時、中止めリングがあることを理解しておらず、そのことによりベアリングが抜けず、通常50～100kN圧を300kNまでかけてプーリーごと破断し、弾き飛ばし、その破片が腹部内へ入った。	63	154	4	10 ～ 29
2017	6	15～ 16	2棟ある現場で、作業場所を確認して移動中に、スロープを通らず土間から直接道路に降りようと、道路標識の支柱に手を添え降りた時に、左肩を脱臼した。	42	921	19	10 ～ 29
2017	6	13～ 14	トラックの左スライドドア側の荷台に置いたタイヤを、荷台前方右隅に積み重ねる作業中に、右後背部を痛める。	52	911	19	50 ～ 99
2017	6	11～	当社従業員は、本社2F工場にて作業中、床にあったコードに足を	73	351	2	1～

		12	引っかけ転倒した。その際に左手を強打し、骨折したものである。				9
2017	6	13～ 14	当社塗装工場にて、入社後より毎日集中的に塗装作業ばかりを繰り返して行っていた為、右手指・左肘等に痛みが出たものである。	42	391	19	1～ 9
2017	6	9～ 10	路上で車輛の荷卸し時に誤って転倒し、セーフティローダーの荷台に手をついた際、突き指状態となり、右手小指を骨折した。	47	221	2	30 ～ 49
2017	6	15～ 16	当社駐車場内において、車両管理作業をしていた際、同僚とぶつかり、手に荷物を持っていたためバランスを崩し、転倒して受傷した。	53	911	2	1～ 9
2017	6	11～ 12	完成検査場にて、入庫車両をピット前にて、車台番号・エンジン型式を確認のため、エンジンカバーを外し、エンジンカバーを脇に置こうとした。エンジンカバーを持ち視界が不良状態であるにもかかわらず、ピットを跨ごうとして右足を踏み外し、ピットの縁に腰を強打し怪我を負った。	52	418	3	10 ～ 29
2017	6	17～ 18	自動車の電動ウォーターポンプを取り替え作業中、ラジエターホースを取り外し、電動ウォーターポンプを取り替え、ラジエターホースを元に取り付け、最終点検のためエンジンをかけ、車をリフトアップして確認点検中、ラジエターホースが外れ、リフトの下にいた二人にラジエター液（約100℃）がかかり負傷する。	52	529	11	10 ～ 29
2017	6	16～ 17	社内の作業場にて車両のファンベルトのゆるみの点検中、エンジン始動の合図が聞きとれず、クーラーベルト及びプーリに左手の指が接触し、中指と薬指の上部を負傷した。	70	121	7	10 ～ 29
2017	6	10～ 11	倉庫内で車両の掃除をしている時に、梯子から落ちて左手首を負傷した。	44	371	1	1～ 9
2017	6	16～ 17	路上で、シフト故障で走行出来ない車両をレッカー車にて搬送する為、故障車とレッカー車を連結する際、連結部に手を置いたままの状態ですべて連結スイッチを動かし、連結部に手を挟んでしまい、右中指	19	221	7	10 ～ 29

			と右示指を負傷した。(一人作業)				
2017	6	9~ 10	工場の2階で、台の上に乗った軽自動車のフロントドアを、場所を移動させようと思い持ち上げた時、背中にブチッと言う音がして、急に息が苦しくなってきた。	57	521	19	1~ 9
2017	6	13~ 14	工場にてバスの屋根の塗装をしていた際、バランスを崩して落下し、左足の踵を負傷した。	57	231	1	1~ 9
2017	6	9~ 10	弊社整備工場で車検作業中、制動装置の部品交換を行う際、低い位置での作業のため、腰に負担がかかり痛みが起きた。	28	921	19	30 ~ 49
2017	6	10~ 11	屋外に設置されたコンプレッサ置場にて、スレートからコンプレッサに向けて雨漏れが発生していたため、スレートにビニールを上を被せようとスレートの上で作業中、踏み抜きにより落下した。	57	415	1	10 ~ 29
2017	6	10~ 11	工場内で車検整備中、左足周りのキングピンにサビがあり、キングピンを固定しているクサビボルトを取り外そうとしていたら、ボルトが固着していたため、電動ドリルを使い、ボルトを削り取る作業中、ドリルの刃が噛み込み、その反動で電動ドリル自体が逆転してしまい、握っていた左手が回されて指が離れなかった。そのため、指が曲がったままだったので折れしまった。	49	364	7	1~ 9
2017	7	15~16	被災者は、当社工場において、車を破砕するため、ニグラ（車を破砕する重機）に乗ろうとした際、キャタピラーに足をかけた時に誤って踏み外し、右膝を捻り右膝の関節を負傷したものである。	49	159	3	50 ~ 99
2017	7	11~12	当社大型自動車整備場にて大型車タイヤを移動中に足を踏んばった時、異音が生じ強い痛みを感じた。	45	611	19	10 ~ 29
2017	7	9~10	整備休憩室につながっている旧洗車場の解体の際、まちがって足を天上板の薄い梁にかけて、板が折れて落ちた。	67	415	1	1~ 9

2017	7	12~13	洗車作業中に右ひじに痛みが出始め、徐々に洗車作業を行うことに より肘の痛みがひどくなり、業務による酷使により右ひじが上から なくなった。	37	921	19	~ 49	30
2017	7	15~16	工場内にて、2階から階段を下りるときに足が滑り、そのまま落下し 背中を強打した。	63	413	1	1~ 9	
2017	7	10~11	営業所に事故車を引き取りに行き事故車をセーフティローダーに積 んだ後、荷台から降りる時、右足で着地した際に大きくバランスを くずし転倒、負傷する。	57	221	3	~ 49	30
2017	7	9~10	他店舗へ車両引取業務のために運転中、直進走行中に、右側道から トラックが割り込み、咄嗟に避けようと、左にハンドルを切ったが 車両右側面後方に槽突され、街路樹にぶつかり、その衝撃で右半 身、首を強く打ち、動けなくなり、救急搬送された。	55	231	17	~ 49	30
2017	7	14~15	ショールームで新車の部品を取り付け中に、運転席から降りる時、 足を滑らせて、強く手をついた。	59	371	1	1~ 9	
2017	7	17~18	トランスミッション取り付け時にミッションジャッキ上のミッショ ンが落下してきたので、とっさに左手で支えたため左手を負傷。	33	521	4	1~ 9	
2017	7	18~19	会社内で車を2Fへ乗上げるためのスロープの上を歩いていたとこ ろ、雨のため足が滑り、転倒し腰を強打した。その後痛みが酷く なった。	32	417	2	1~ 9	
2017	7	11~12	洗い場でバケツの水換えをされていてバケツの水と中に入ったペー パーと一緒に流してしまい裏側の廃水の所に拾いに行った時に足を 滑らせ下に落ちた。	36	416	2	1~ 9	
2017	7	9~ 10	板金工場内でサイドバンパーに足をかけて、車両の荷台に置いてい た部品を取り降りようとした所、左足がすべってバランスをくずし て足首をひねったような形で着地し、骨折した。	65	221	3	~ 49	30
2017	7	13~ 14	会社の車検整備工場内で、車検整備車両のタイヤを取り付けの際ホ イールの穴に指を入れた状態でホイールを回した為、左手人差し指	31	231	7	~	10

			がブレーキキャリパーとホイールに挟まれ左手人差指を負傷した。				29
2017	7	14～ 15	工場内にて、車の修理作業中、ラジエーターファンの確認のため、スイッチを入れたところ、ファンがまわったところに右手指が触れてしまい受傷した。	51	231	8	10 ～ 29
2017	7	14～ 15	フォークリフト工場内の作業場において、ハンドリフトの修理中、ハンドリフトの向きを変えるときに指を挟んでしまった（右手中指、薬指）。90度に起こして作業後、右手指を本体とジャッキの上部の隙間に入れて挟んでしまったものである（本体を起したときにピストンが下降し、隙間が無くなる）。	44	362	7	1～ 9
2017	7	13～ 14	当社自動車整備工場内で、整備員2人がトラックの点検をしていた。この内1人は運転席に座り、被災者であるもう1人はトラックの後ろに立っていた。運転席にいた整備員がバックライトの点検をするため何らかの操作（クラッチを踏んだギアを入れた、又はセルを回した等）をしたとき、トラックが急にバックしてきて、その後ろに立っていた被災者が後方に止まっていたトラックとの間に挟まれた。	42	221	7	10 ～ 29
2017	7	16～ 17	大型トラック低床四軸車両車検整備終了後、修理工場内より出庫のため、ガレージジャッキ10t用にて車両を地面に降ろすとき、前方から四軸目ジャッキ面が上げている車両デフケースが滑り、ジャッキフレーム上に落下したときに、車両フレームに付いている鉄製の工具箱に体が当たり怪我をした。	40	221	1	1～ 9
2017	7	11～ 12	自動車修理工場において、トラック荷台床材となる木材を切断加工中、木材を押さえていた左手の手袋が電動ノコギリ（携帯用丸鋸）の刃に巻き込まれ、左手を電動ノコギリで負傷した。	64	131	8	1～ 9
2017	7	9～ 10	工場内で、鋼材製板を二人で移動する作業において、クレーン等の免許無資格者が、台座に載せた350kgの鉄板を2.8tのクレーン操作で吊り下げ移動中、地上50cm位の位置で台座のバランスが崩れ、鉄板が滑り落ち、鉄板場を押さえていた被災者の両もも（ひざ上部）に	59	611	4	10 ～ 29

			当たり出血し、左脛と踝、右足甲を骨折した。				
2017	7	11～ 12	塗装室で塗装作業中、エアホースリールのホース止めに登ってしまい、足を捻じり、膝を脱臼した。	56	921	19	1～ 9
2017	7	17～ 18	工場内で産廃の処理をしていたとき、エンジンを詰め込む作業中に右手親指を怪我した。	32	611	4	1～ 9
2017	7	16～ 17	場外駐車場において室内カメラ取付作業時に、作業体勢不安定により、足掛け部から右最前部座席肘掛け部に転倒し、左肺をぶつけ、左肋骨6番目を骨折した。	69	921	2	50 ～ 99
2017	7	16～ 17	工場にて、クランプリフトラジエーター水点検のため出張点検中、2人で上カバーを取外中（後方）に、右側に積んで置いてあったトイレトペーパー用の古紙原料が荷崩れて来て、右側にいた被災者の左足に倒れ、左足くるぶし後方を骨折負傷した。	25	611	5	1～ 9
2017	7	11～ 12	倉庫よりトラックタイヤの搬入作業中、タイヤのバランスを崩したため、自身の足にタイヤが当たり、足を折った。	49	391	5	10 ～ 29
2017	7	17～ 18	工場内で、車輛整備のためドリルでボルトに穴をあけていたとき、誤ってドリルに指をとられてしまい、右手薬指を捻って骨折した。	35	921	19	1～ 9
2017	9	14～ 15	会社構内の屋外で、トラック荷台の荷物を固定する作業中、別の人がトラックに乗り込み発進させた。被災者は無人状態でトラックが動いたと思いトラックを停止させる目的で荷台から降り、運転席のドアノブに手を掛けたところ、左に旋回するトラックに引っ張られて、左足首を強く捻り受傷した。	59	221	19	10 ～ 29
2017	9	11～ 12	車をリフトに上げ作業中、ミッションジャッキに角材をはめて移動した時にはずれて頭に落下した。頭と首を痛めた。	36	361	4	10 ～ 29
2017	9	13～	コンバインの刃を新しいものに取り替えるために、コンバインからカッターを外し地面に置いて、新しい刃をインパクトドライバーで	70	379	8	10 ～

		14	締める際、その刃を左手で押さえていたが少し緩み左手の甲を切傷した。					29
2017	9	16～ 17	当社工場にて、大型ダンプに取り付ける鉄板を電気ドリルで穴あけ加工中、電動ドリルの調子が悪く、電源を切って電気ドリルのチャックを締めていた際、誤って電源を入れてしまい、右手が電気ドリルのチャックに巻き込まれ負傷したものの。	37	159	7		10 ～ 29
2017	9	14～ 15	当社工場内、トラックの荷台に乗り、幌骨にライトチューブを巻く作業中、後ろを確認せずにトラックの荷台の上を後退し、閉めた状態だったリヤバッテリーに足が当たり、そのまま転落し、負傷した。	48	221	1		1～ 9
2017	9	13～ 14	当社が受注した鳩よけネット取り付けの作業を1階ベランダで6尺脚立上から2段目まで登り行っていた。作業は昼過ぎから20分位後、天井付近に設置されているエアコン室外機にネットをかけている時、落下し、頭部を打ったものである。	32	371	1		500 ～ 999
2017	9	13～ 14	自動車整備工場内で、自動車のルーフ面を磨くため脚立（高さ60cm）の上に乗ろうと1段目のステップに左足を掛けて右足を脚立の上に置いて上がろうとしたが、右足が脚立のふちに引っ掛かった。1度立つことが出来たがバランスを崩し地面に落下、右太もも部分を強打した。	66	371	1		50 ～ 99
2017	9	9～ 10	自動車工場内で、お客様のトラックで使用しているETC車載器の取り外し作業中、車内運転席側の足元左側面に両面テープで固定されているETC車載器をスクレイパーではがそうとした際に、力が入りすぎETCが外れた後、支えていた左腕の手首をスクレイパーで損傷したものである。	49	169	8		1～ 9
2017	9	13～ 14	駐車場にて、スペアタイヤ交換中、タイヤホイールナットが緩まず、力を加えた時、使用していた工具（レンチ）が一回転して、右手薬指にあたった、さほど痛みが無かった為、そのうち治るだろうと思い、放置していたら悪化した。	36	364	6		10 ～ 29
			当社工場内に於いて、修理車両のテールゲートのダンパー交換作業					

2017	10	13～ 14	中、左側ダンバーを取り外した時、テールゲート（重量約50kg）が閉まり、ボディーとテールゲートの間に誤って右腕を挟まれ負傷したもの。 ※通常手順はテールゲートの落下を防止する工具を使用し行う作業だが、工具を使用せず手で支えて作業を行い、重さに耐えきれず挟まれた。	27	231	7	10 ～ 29
2017	10	11～ 12	工場内においてトレーラーの荷台床補修作業を実施していた際、床板を全てはがしてフレームと桁のみの状態で作業中、本来は足場板を固定した上で作業を行うところ、固定せずに左手に工具を持ったまま移動し、バランスを崩して落下した。1m程度の高さの為、両足で着地したが、工具を握ったままの左手をフレームに強くぶつけてしまった。その際に左手薬指と小指がフレームと工具の間に挟まれ骨折した。	20	364	7	50 ～ 99
2017	10	13～ 14	工場外の洗車場、排水溝の修繕作業中に、電動カッターを使いパイプを切断中、誤って左手（詳細下記※）を切り付け、負傷した。 ※左手内側、人差し指第1関節を深く切傷し、13針縫合、左手人差し指と中指の爪に傷、左手外側、中指の第1・第2関節間に切傷。	70	169	8	10 ～ 29
2017	10	15～ 16	当社工場駐車場にて作業車両の助手席に取り付けてあるシートカバーの取り外し作業中、シート下部の取り付け金具を外すため、シートの下部と床の間に手を入れ作業したところ、奥の見えない場所にあった鋭利なシートの部品に左手親指付け根付近をひっかけ切創した。	68	521	8	30 ～ 49
2017	10	15～ 16	第一工場内で、2t積載トラックを中型リフトで持ち上げ（約1m）、リフトの上に登り、トラック前部分と後部分の間を整備していたところ、リフトの上でバランスを崩し、床面（コンクリート）に後ろ向きのまま倒れたもの。倒れた瞬間を目撃した者はいなかったが、音に気づき、近くにいた整備士が現場を確認しに向かったところ、工具を持ったまま仰向けに倒れていた。	49	416	1	50 ～ 99
			工場内において、スポット溶接の作業準備中、スポット溶接機の				

2017	10	11～ 12	アーム部にスポットガンをワイヤー掛けの為、持ち上げた際、腰を痛めた。	29	921	19	1～ 9
2017	10	18～ 19	車の足廻り（サスペンション）の分解作業中、スプリングを縮めるスプリングコンプレッサーが外れてしまい、工具と部品が自分の方へ飛んできて左手の小指、左眉にあたり、左手の小指を骨折、左眉に切り傷を負った。	26	319	4	30～ 49
2017	10	14～ 15	キャリアカーの1番フロアーのワイヤー交換時、安全靴の右かかと部分がエキスパンダーの淵に引っ掛かり、体勢を崩してしまった為、上段より下段に落下（高さ約1.3mから落下）してしまった。	53	221	1	10～ 29
2017	10	20～ 21	本社整備工場内で、修理前のトラックを作業場所に移動させるために後方から押しているときに、足を踏ん張って左足ふくらはぎの肉離れを起こした。	33	221	19	10～ 29
2017	10	18～ 19	整備工場の休憩室の戸締りをしようと、ドアを閉めたところ、入口前の段差で転倒し、右足首を痛めた。捻挫だと思い痛みを我慢して、そのまま帰宅したが、翌朝歩行困難となった。右足首を骨折していた。	56	418	2	10～ 29
2017	10	15～ 16	工場でトレーラーの床材をはがす際に天井クレーンのつり具が外れて、鼻に当たった。つり荷が外れてその反動で、つり具がふれ、労働者の鼻に激突した。	48	211	4	10～ 29
2017	10	17～ 18	工場内で車を修理していた。後方に、後ろ向き状態で下がったところ、10cm程の段差があり、そこで左足を挫いた。	49	416	19	1～ 9
2017	10	15～ 16	倉庫に置いてある部品に躓き転んだ。その際、手のつき方が悪かった。	57	521	2	1～ 9
2017	10	18～ 19	会社内で自動車を整備中、その場所が斜面になっているが、本人がサイドブレーキをしていなかったため車両が動き出し、危険を感じ自分で車両を止めようとした時、横にあった大型ジャッキに躓いた。	62	219	2	1～ 9

2017	10	15～ 16	タイヤ保管場所において、積み上げたタイヤに登り、車検用タイヤを検票していた。バランスを崩し、約1.5mの高さから下に置いてあったホイール上に落下し、背中を強打した。	66	414	1	10 ～ 29
2017	10	14～ 15	工場敷地内で3トントラックのリヤーパワーゲート上部を、電動カッターで切断作業中に切断部位が下がらないように右手でマイナスドライバーを持ち切断部に差し込んでもらい、固定して切断していた時に切断面からカッターが左に弾かれ左側でドライバーを持っていた被災者の右手甲を負傷させた。	63	364	8	1～ 9
2017	11	18～ 19	退社時工場内の自分の作業場に忘れ物を取りに行く際、壁際の集塵機と作業中の大型バスの間を通る時、作業に使用する毛布に足を引っ掛けて転び、集塵機の角に左側頭部をぶつけてしまった。	65	417	2	1～ 9
2017	11	17～ 18	路上にて事故車をレッカーで引き上げる準備のため、タイヤのシャフトを外してレッカーで持ち上げようとした際、外れたシャフトが右足に落下し負傷した。	37	521	4	10 ～ 29
2017	11	12～ 13	商品が欠品してしまったため駅構内にある別店舗へ受け取りに行き、自店舗に戻る途中の階段を下り始めたところで足を滑らせ3段くらい落ちてしまった。手すりに掴まったため下まで落ちなかったが、その際、腰を強打してしまった。	42	418	2	100 ～ 299
2017	11	16～ 17	保育園2歳児組にて、おやつ後、子ども達のエプロンをしゃがんでロッカーに入れている時、少し離れたところで、子ども同士が叩き合い（ケンカ）をしていることに気付き、慌てて止める為立ち上がりながら駆け寄ろうとした瞬間に右足ふくらはぎに激痛がはしり、負傷した。	52	371	1	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	工場内にて車検整備の車をリフトに上げ外したタイヤを壁に立て掛けた。作業中の移動で右足でタイヤに躓き床にあった部品の上に左膝をついてしまった。激痛のため救急車にて搬送された。	38	611	2	30 ～ 49
2017	11	17～	オートバイのエンジン修理中、工場内でエンジンを掛けようとしてキックレバーを踏み込み、不発してキックレバーが勢いよく跳ね返	47	231	4	1～

		18	り、右足に当たり右足首を骨折した。				9
2017	11	15~16	事業場内で、車を運ぶキャリアカーの点検のため、キャリアカーの1階部分に立っていた時、前部フロアの2階部分が上がり、そのフロアに持ち上げられ、上に上がっていた後部2階フロアとの間に挟まれ負傷した。	31	229	7	30~49
2017	11	9~10	KP地点付近で作業中、工具を持って走っている時に誤って路肩に足を引っ掛けて左足首を捻り負傷した。そのまま夜まで仕事を続けたが、痛みと腫れが引かず翌日病院に行き骨折が判明した。	52	418	3	10~29
2017	11	14~15	当社工場内において出張作業の準備をしている時、トラックにガレージジャッキ（30~40kg）を積み込もうと持ち上げたところ、腰に激痛が生じた。	43	363	19	10~29
2017	11	13~14	社内作業場で、前屈みで、オイル缶（20?）からオイルジョッキに注入中に、オイル缶が滑りそうになったので手を持ちかえようとした時に、腰に痛みが走り動けなくなった。	41	611	19	1~9
2017	12	11~12	砂利の駐車場で事故車両の積込作業中、事故車両と荷台スライドスペースを確認し後部アオリを下げようと積載車に戻る時、地面の凹凸が前日の雪で見えず、右足を着いた時に指先に無理な力がかかり、足を負傷した。	40	719	19	1~9
2017	12	9~10	工場内作業場にて、車検整備中、エンジンルームに置き忘れたウエスがエンジン回転中のベルトに絡まり、取り除こうとして左手の中指を受傷した。	58	121	8	1~9
2017	12	11~12	会社の大掃除の際に脚立を用い窓ガラスを拭き脚立から降りる際に、脚立から滑り落ち、右手を負傷した。	61	371	1	10~29
2017	12	16~17	当社整備工場内にて、走行距離の確認のため、トラックのキャビンを上げた状態でコックピットにのぼり、確認作業が終わったため降りようとしたところ、足を滑らせ落下し、腰と左手首を痛めた。	58	221	1	30~49

2017	12	7~8	工場敷地内で、構内移動用自転車で移動中、自転車のチェーンが外れバランスを崩し、左側に転倒した際、地面（コンクリート）に左膝を強打した。	39	362	3	30 ～ 49
2017	12	14~15	会社工場敷地内において、自社回送車にお客様の車を積んだあと、下車するときに足を踏み外し、着地に失敗して転倒したことにより、右肩打撲と左足首靭帯損傷を負った（高さ約1m）。	58	221	2	10 ～ 29
2017	12	14~15	車両の荷台室内にて、保安基準の仕切りパイプを取り付け中、鉄パイプがはね返り、右手の平に当たり、反動がきつく右腕が後にもつていかれ、右肩の関節に激痛がはしった。病院でMRIを撮ったところ、右肩関節の筋肉（すじ）が切れていた。	70	521	6	1～ 9
2017	12	10~11	整備工場内で、トレーラーの下にもぐり、部品を交換する作業をしていた。交換する部分のボルトを外していたとき、不安定となったボルトが倒れてきて鼻に当たった。	40	521	4	10 ～ 29
2017	12	14~15	工場にて年末大掃除作業中、工場内塗装室の天井から、道具を取りに梯子を下りるとき、梯子と一緒に約3m下に転落し、右足首を骨折した。	55	371	1	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html